

養父市 定例記者会見

日時：平成30年8月24日 午前10時00分から

場所：養父市役所 第2委員会室

1 発表事項

資料番号	発表事項	発表者	開催日
1	養父市一斉避難訓練の実施について	防災安全課	
2	ビジネスセミナー、創業・第二創業塾の開催について	商工観光課	
3	「第25回公募展木彫フォークアートおおや～ふるさとの命の姿～」の開催について	大屋地域局	
4	ミャンマー写真展の開催について	秘書課	
5	建屋診療所による診療報酬算定の誤りについて	保険医療課	
6			
7			
8			
9			

2 資料配布

資料番号	内容	配布元	開催日
1	知と創造農学セミナー公開講座のお知らせ	農林振興課	
2			
3			
4			

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月24日（金）	危機管理室 防災安全課	079-662-2899	防災安全課長 津崎宏行 （主幹 村崎利和）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市防災訓練（一斉避難訓練）の実施について

1. 目的

地震、風水害、火災など有事の際、全市民が安全にすばやく避難できることが大切である。区民、自主防災組織、民生委員・児童委員、福祉委員、消防団、社会福祉協議会等が連携を図りながら避難訓練を実施することで地域コミュニティの醸成による地域防災力の向上を目指します。

2. 日時

平成30年9月2日（日） 午前10時～

3. 参加

区長会、自主防災組織、民生委員・児童委員（民生・児童協力委員）、養父市消防団、やぶ防災会、養父市社会福祉協議会、南但消防本部、養父警察署等

4. 訓練内容

各区で災害時における避難行動を、共通訓練と地域の特性等に応じた様々な災害を想定し訓練を実施します。訓練の開始は、「防災行政告知システム」と「緊急速報メール」により周知します。

また、市内4か所にモデルとなる訓練地区を設定し、より実践的な訓練を実施するよう計画しており、その中で、今年度高柳小学校区（八鹿地域）においては、養父市で初となる「指定避難所開設訓練」を実施します。この訓練は、高柳地区自治協議会が主体となり、校区役員等が総務班、情報広報班など7つの班で避難所運営委員会を組織、運営し、情報伝達訓練や炊き出し訓練、人と防災未来センターの講師による防災講話、養父消防署員による心肺蘇生法などの消防教室を実施する計画です。

八鹿：高柳校区（16区）＝防災講話、避難誘導、搬送訓練、安否確認、心肺蘇生、炊き出し

養父：藪崎・上藪崎区（2区）＝避難誘導、搬送訓練、安否確認、応急手当、合同放水訓練

大屋：大屋市場区（1区）＝避難誘導、搬送訓練、安否確認、応急手当

関宮：尾崎区（1区）＝避難誘導、搬送訓練、安否確認、心肺蘇生・AED使用訓練、炊き出し

※共通：アルファ化米の提供

5. 昨年実績

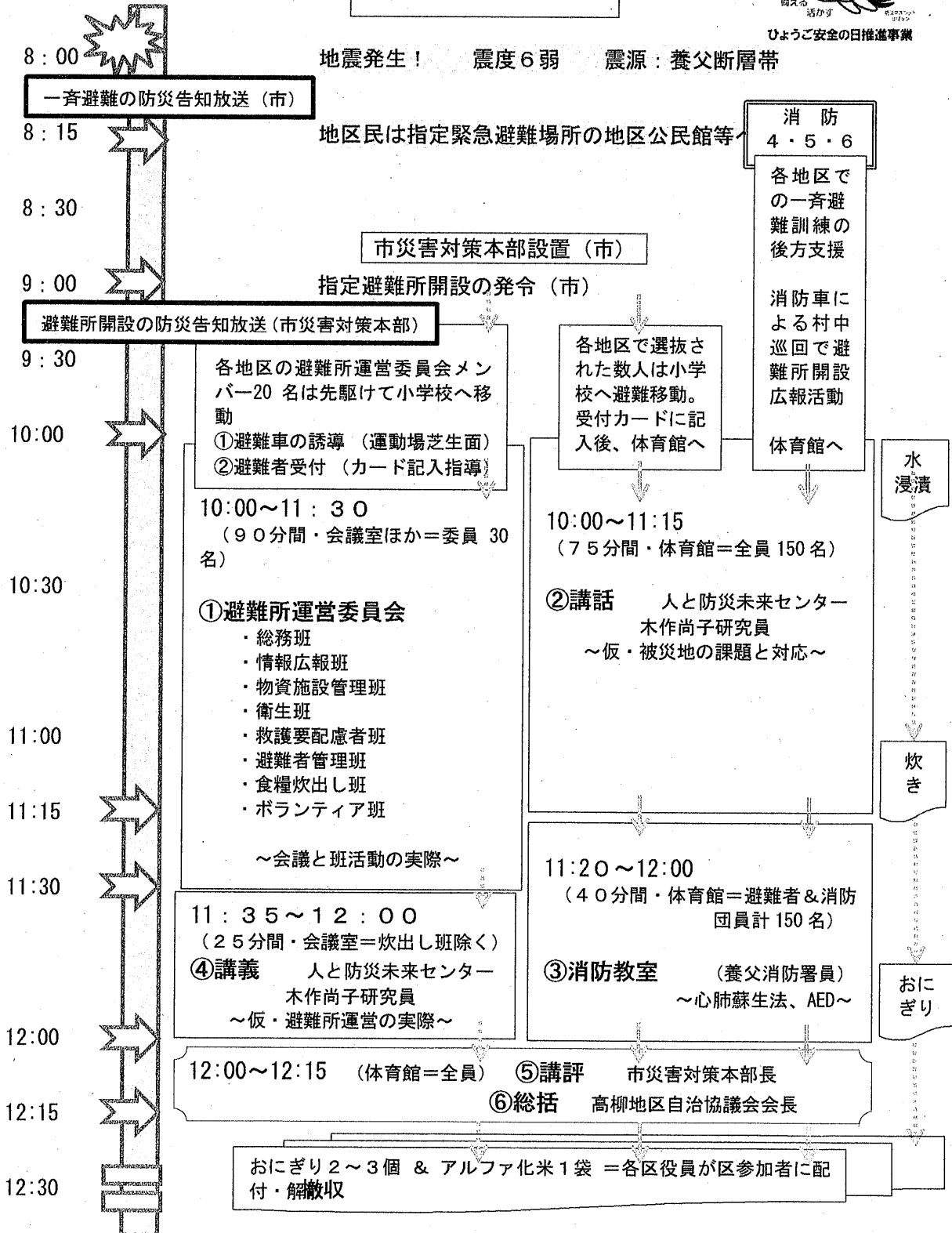
160区 11,093人（内消防団員795人）

共通訓練＝近所への声掛け
などにより一斉避難
選択訓練＝要支援者名簿更新、
消火器・消火栓使用など区の実情に
合わせた訓練

高柳地区自治協議会



訓練の時系列



養父市記者発表資料 (発表・資料配布)

養父市記者発表資料 (発表・資料配布)			資料番号
発表日	担当部課 (室) 名	電話 (内線)	発表者職氏名 (担当者職氏名)
8月24日 (金)	産業環境部 商工観光課	079-664-0289	課長 柳川 武 (主幹 沖田 隆典)
【報道解禁】新聞： 月 日 () 朝刊 テレビ・ネット： 月 日 () 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

ビジネスセミナー、創業・第二創業塾の開催について

1 実施の背景と目的

近年、後継者の帰郷が多く見受けられ、第二創業等の事業改革へ向けた需要が高まってきています。地域経済の発展を促す手段のひとつとして、経営知識を培った創業者及び後継者の育成、持続可能な事業展開に向けた経営計画の策定が必要です。そこで養父市商工会では、創業に必要な知識の習得から創業時の経費助成に至る一体的な支援を行うことにより、創業と事業承継を促進し、地域経済の振興を図ることを目的に、養父市の支援を得て「創業・第二創業塾」を開講します。

その一方で、創業後 10 年後に存続している事業者は約 10%と言われるほど厳しい現実があります。経営を持続的に展開していくための創業予定者及び経営者として求められるスキルや視点は何かを学ぶ必要があるため、養父市商工会では 1 名の経営者を招聘し、「新たな視点でビジネスチャンスを掴む秘訣とは！！」と題し、ビジネスセミナーを開催します。

2 内容

【ビジネスセミナー】

- (1) 日時 平成 30 年 9 月 13 日 (木) 13:30 ~ 16:00
- (2) 講師 株式会社東田ドライ 代表取締役 東田 伸哉 氏
「リナビスの事例に見る、マーケティングを軸とした地方企業の劇的再生事例」
- (3) 定員 60 名

【養父市創業・第二創業塾 2018】

- (1) 日時 ①平成 30 年 9 月 25 日 (火)、②平成 30 年 10 月 2 日 (火)、③平成 30 年 10 月 9 日 (火)
④平成 30 年 10 月 16 日 (火)、⑤平成 30 年 10 月 23 日 (火)、⑥平成 30 年 11 月 13 日 (火)
⑦平成 30 年 11 月 20 日 (火) の計 7 回 いずれも 13:30 ~ 17:30
- (2) 講師 神戸経営研究所 塔筋 幸造 氏
藤澤 直武 氏
- (3) 定員 20 名

3 申し込み方法

以下、養父市商工会へ電子メールまたは FAX 送信

4 お問い合わせ・申し込み先

養父市商工会

〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1672

TEL : 079-662-7127 FAX : 079-662-7207

E-mail : ks-center@yabusci.or.jp

養父市記者発表資料 (発表・資料配布)

養父市記者発表資料 (発表・資料配布)			資料番号
発表日	担当部課 (室) 名	電話 (内線)	発表者職氏名 (担当者職氏名)
8月24日 (金)	市民生活部大屋地域局	079-669-0120	大屋地域局長 向 秀樹 (主事 岩見 ちはる)
【報道解禁】新聞： 月 日 () 朝刊 テレビ・ネット： 月 日 () 時			
※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「第25回公募展木彫フォークアートおおや～ふるさとの命の姿～」の開催について

第25回公募展木彫フォークアートおおやを下記のとおり開催しますのでお知らせします。

- 1 名称 第25回公募展 ^{もくちょう}木彫フォークアートおおや～ふるさとの命の姿～
- 2 趣旨 日本文化の原点ともいえる木を素材とした、生活に身近で親しみやすい温もりや安らぎを与えてくれるフォークアートの全国公募展です。
「ふるさとの命の姿」が詰まったユニークな木彫作品を展示します。
- 3 主催 木彫フォークアートおおや実行委員会、養父市
- 4 会場 養父市立おおやホール (養父市大屋町山路7番地)
- 5 審査講評会
 - (1) 日・時 平成30年9月15日 (土) 15時～16時 (予定)
 - (2) 審査員 河崎 晃一 (甲南女子大学文学部メディア表現学科教授)
大森 一樹 (映画監督・大阪芸術大学映像学科長)
岸野 裕人 (元姫路市立美術館長)
広瀬 栄 (養父市長)
 - (3) 内 容 審査結果の発表、審査員による講評
 - (4) 賞 グランプリ・文部科学大臣賞 1点 (買上賞・副賞100万円)
養父市ふるさと賞・兵庫県知事賞 1点 (買上賞・副賞50万円)
山田洋次記念賞 1点 (買上賞・副賞50万円)
優秀賞 1点 (買上賞・副賞30万円)
実行委員会特別賞 1点 (買上賞・副賞20万円)
入選 約40点
※入賞及び入選作品は作品集へ掲載
 - (5) その他 同日実施する審査会は非公開ですが、講評会についてはマスコミ及び一般の方もご入場いただけます。審査結果については会場で資料を配布するほか、養父市ホームページにて公開します。

6 展覧会

- (1) 会 期 平成 30 年 9 月 21 日 (金) ~平成 30 年 10 月 8 日 (月・祝)
- (2) 入場料 無料
- (3) 展 示 平成 30 年 8 月 31 日(金)までに応募のあった全ての作品を展示します。

7 授賞式

- (1) 日 時 平成 30 年 9 月 29 日 (土) 11 時 30 分
- (2) 内 容 入賞者の表彰、大衆賞の発表

- 8 その他 木彫フォークアートおおや実行委員会では、展覧会をお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集しています。業務内容は展覧会の受付、作品の監視等です。報酬・交通費の支給はありませんが、第 25 回公募展の作品集を 1 冊贈呈します。

9 問い合わせ

養父市大屋地域局内 木彫フォークアートおおや事務局 (担当: 岩見)
〒667-0311 養父市大屋町大屋市場 20 番地 1
電話 079-669-0120 FAX 079-669-1682

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月24日（金）	企画総務部秘書課	079-662-3168 （227）	秘書課課長 中村文明 （秘書課主幹 高木 信彦）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時			
※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「ミャンマー写真展」について

標記の写真展が下記のとおり開催されますので、お知らせいたします。

記

と き 平成30年9月20日（木）～26日（水）

午前10時～午後6時

ところ ペア内

養父市八鹿町八鹿 1219

連絡先 展示責任者 NPO 法人「道普請人（みちぶしんびと）」技術専門家

田中輝彦（旧八鹿町出身） 電話090-3283-0583

会場責任者 文化堂（田中） 電話090-2068-8454

その他 観覧無料

展示責任者 田中輝彦氏 コメント

発展途上国の貧しい農民たちのくらしの向上のための道直し事業を進めている NPO 法人「道普請人（みちぶしんびと）」理事長の木村亮京大教授の依頼でミャンマーの道直しをしています。大都市ヤンゴンはもちろん、旅行者などが通常立ち入ることが難しい村のくらしを見ることができ、ミャンマーの土木技術者、行政、農民、子供たちとの交流を深めています。その過程で撮った写真の一部を紹介します。

ミャンマーは東南アジア最後のフロンティアと言われる後発国です。特に村のくらしは日本の100年前と同じで、今も電気も水道もありません。インフラのなかでも道はくらしの根幹で、雨期の6か月の間は幹線道路までの3kmあるいはそれ以上のぬかるみを徒歩で移動することになります。自転車を使用できれば上級校に通える児童も、貧しいため寄宿できず勉学をあきらめることになります。また、救急車が走れないため、急病人や妊産婦が命を落とすこともあります。

日本の道路などインフラの整備状況と比較して、いかに日本の土木インフラが恵まれているかを痛感します。

日々のくらしになくってはならない道路や土木インフラは、長年の国民の努力で造られてきましたが、出来上がるとその存在を意識しないほど身近になっています。しかし、これからも必要なものは新しく建設し、老朽化して危険になる橋などは土木技術者の力で維持管理を続けなければなりません。土木事業はくらしの利便性を高め、自然災害被害を少なくするなど国土を強くするためにはなりません。

神戸市建設局では、市民の土木事業への理解を深めてもらうことと、国土を安全に強固にするために活躍する土木技術者を目指す若い人たちが育つことを目的として、親子の土木の教室、橋模型のコンテストなどを長年続けています。その企画、講師を務めてきました。

郵便はがき



ミャンマーとくらす国 ブツグとくらす国 ミャンマー写真展 ご案内



場所：養父市八鹿町 ベア内 (観覧無料)

日時：2018年9月20日～9月26日

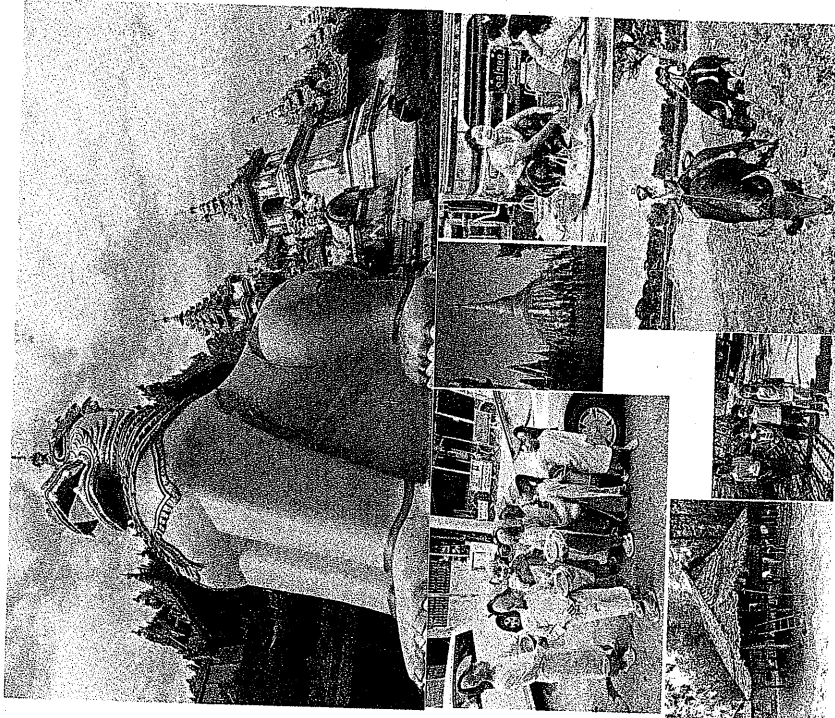
10:00～18:00

連絡先：文化堂(田中) 電話090-2068-8454

展示責任者：NPO「道普請人」技術専門家 田中輝彦

電話 090-3283-0583

Email: hicogg@gmail.com



ミャンマーは東南アジアの最後の後発国として今や目覚ましい発展を遂げつつあります。国民の70%が農業に従事していますが、村には電気も水道もなく日本の100年前のくらしが見られる場所も数多くあります。軍政時代はいわば鎖国状態で、旅行者の立ち入り一部を写真で紹介いたします。道直しの事業を通じて見聞した一部を写真で紹介いたします。

NPO「道普請人」技術専門家 田中輝彦 (旧八鹿町出身)

養父市記者発表資料 (発表)・資料配布)

養父市記者発表資料 (発表)・資料配布)			資料番号
発表日	担当部課 (室) 名	電話 (内線)	発表者職氏名 (担当者職氏名)
8月24日 (金)	健康福祉部	079-662-3165 (内線 137)	健康福祉部長 小井塚裕二 (保険医療課長 余根田一明)
【報道解禁】新聞: 月 日 () 朝刊 テレビ・ネット: 月 日 () 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

建屋診療所における診療報酬算定の誤りについて【第1報】

この度、建屋診療所のレセプト作成における診療報酬点数の算定において、本来算定してはならない項目を算定していたことが判明した。概要と今後の対応方針等については以下のとおり。

1. 診療報酬算定誤りの概要

(1) 内容

建屋診療所においては、薬剤師が勤務していないにも関わらず、以下の「調剤技術基本料」を算定し、患者（市民）から一部負担金を徴収するとともに、保険者等に診療報酬を請求していた。

* 調剤技術基本料・・・常勤の薬剤師の管理のもとに調剤が行われた場合に8点を算定できる。

患者1人につき、月1回に限り算定するもの。

(2) 原因

レセプトコンピューターによるレセプト作成にあたり、調剤技術基本料を自動的に算定するようシステムが設定されていた。

(3) 期間

不明 (平成30年7月25日午前まで)

2. 診療報酬算定の誤りによる影響と今後の対応方針について

診療報酬という特種な分野での希な事例であることや対応する相手方も各方面に及ぶことから、以下のことについて慎重に検討したうえで、法的、社会通念上、公正かつ妥当な対応が必要と認識。

(1) 診療報酬算定の誤りによる影響 (対応する必要がある相手方)

- ① 受診時に窓口で一部負担金を受領した患者
- ② 患者が加入していた保険者 (診療報酬を支払った保険者)

* 各保険者への診療報酬の請求・受領は審査支払機関 (社会保険診療報酬支払基金、国保連合会) を通じて行われているが、返還の手続きが可能かどうか調整中。

(2) 返還する期間について

10年間分を返還することを基本方針とする。

*時効について

民法の不当利得の返還義務に該当し、私債権 10 年の時効期限。

(3) 算定誤りの状況把握と現在進めている作業

- ①レセプトコンピューターのシステム上、保存しているデータは平成 24 年 4 月分からの 6 年 4 ヶ月分 (H30.7 まで)。
- ②対象となる患者と保険者情報及び正規の診療報酬額と誤って徴収した差額を、平成 24 年 4 月までは保存データから抽出。それ以前の 10 年前までの分はカルテから可能な範囲において抽出。
※抽出は 8 月中完了に向けて鋭意作業中。

(4) 返還の方法及び時期

誤って徴収した建屋診療所を受診した患者、保険者へ（審査支払機関を通じた返還等）の返還方法をデータ抽出とあわせて今後、それぞれ検討・調整する。

まずは早急にデータ抽出・全体を把握したうえで、10 月を目途に誤って徴収した患者へのお詫びと返還等の手続きについて案内する。あわせて、審査支払機関及び保険者への対応も実施する。

【参考】誤って徴収していた診療報酬額の概要（調査中）

1 年分の影響人数及び影響金額の概要（平成 29 年 7 月～平成 30 年 6 月まで）

<人数> 延べ 626 人（実数は 100 人程度の見込み）

<金額> 患者から誤って徴収した総額：7,000～8,000 円程度

審査支払機関（保険者）から誤って徴収した総額：40,000 円～45,000 円程度

3. 判明に至るまでの経緯と対応状況

(1) 経緯

7 月 24 日、市保険医療課レセプト点検員が、養父市国民健康保険の平成 30 年 4 月分をレセプト点検していた際、4 月から建屋診療所は医師・スタッフが大谷診療所と兼務の状況にあり、異なった診療報酬算定に疑問を持ち、建屋診療所へ確認して判明した。

(2) 対応

◇7 月 25 日 レセプトコンピューター設定変更

レセプトコンピューターの設定を正規に算定できるよう変更。

◇7 月 27 日以降

システム業者、近畿厚生局、兵庫県、審査支払機関、弁護士等への報告・相談・協議しているが、対応について引き続き調整・協議を要する。

4. 問い合わせ等

養父市健康福祉部保険医療課 課長 余根田一明

Tel 079-662-3165

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月24日 （金）	産業環境部農林振興課	079-664-0284	課長 池田 雅美 （主事 高階 麻由）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

“知と創造” 農学セミナー 公開講座のお知らせ

県立但馬農業高等学校と養父市が共催して、農学を学べる“知と創造”農学セミナーを平成30年5月から毎月開催しています。

第5回となる鳥取大学農学部長田村文男教授の講義を、前回に引き続き公開講座として下記のとおり広く皆さまに周知します。

記

1. 日時 平成30年9月1日（土）午前9時30分～12時00分
2. 会場 兵庫県立但馬農業高等学校 校舎内
3. 内容 鳥取大学農学部長 田村文男教授による公開講座
「くだものの科学～花芽分化から成熟・貯蔵まで」
4. その他 参加料は無料で、事前申し込みは不要です。
当日、会場へお越しください。
5. 問い合わせ 詳しくは下記の担当課、もしくは市ホームページをご覧ください。
担当課：養父市産業環境部農林振興課 高階（たかしな）
電話：079-664-0284 FAX：079-664-2528

養父市 記者発表資料（資料配布）

養父市 記者発表資料（資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月24日（金）	保険医療課	662-3165	課長 余根田一明 （主事 西垣 愛）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第5回やぶ医者大賞 表彰式・記念講演会の開催について ～地域医療と健康長寿について考える～

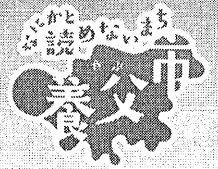
7月25日に発表しているとおり、第5回やぶ医者大賞 表彰式・記念講演会を下記のとおり開催しますので、取材方よろしくお願ひします。

記

1. 日 時 平成30年8月25日（土） 13:30～16:00（開場13:00）
2. 会 場 養父市立ビバホール（養父市広谷250番地）
3. 内 容 ちらし参照
4. 入場料 無料（申込不要）
6. 問い合わせ 養父市健康福祉部 保険医療課 Tel.079-662-3165

第5回 やぶ医者大賞 表彰式・記念講演

国家戦略
特区指定
養父



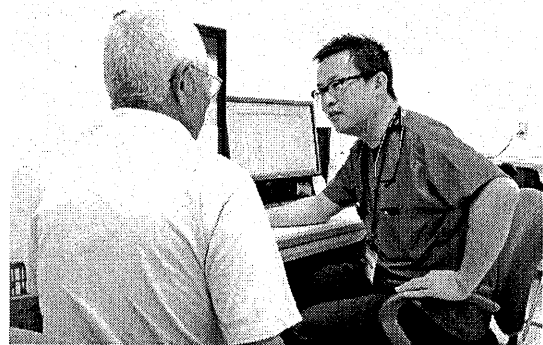
～地域医療と健康長寿について考えよう～

やぶ医者大賞は、「やぶ医者」の語源が「養父にいた名医」であったことにちなみ、全国各地で地域医療に貢献している若手医師を顕彰するもので、今年も2名の医師に「やぶ医者」の称号を贈ります。また、フレイル（虚弱）予防を通して互いに支えあえる健康長寿のまちづくりを考えます。

第5回やぶ医者大賞受賞者



市川 万邦氏



廣瀬 英生氏

日時

平成30年

8月25日(土)

13:30～16:00
(開場/13:00)

入場無料

やぶ一健康ポイント
付与事業

会場

養父市立 ビバホール

兵庫県養父市広谷250
(電話) 079-664-1141

問合せ先

養父市健康福祉部保険医療課
〒667-8651
兵庫県養父市八鹿町八鹿1675
TEL.079-662-3165

開会セレモニー

オープニング
京都フィルハーモニー室内合奏団 西谷良彦氏(トランペット)と
養父中学校吹奏楽部の共演
プロローグ(やぶ医者の語源紹介VTR)
主催者あいさつ

第1部 やぶ医者大賞表彰式・受賞者講演

審査講評・表彰

受賞者講演

「スマイルなんぶ!スマイルやぶ!!スマイルにつぼん!!!」

市川 万邦氏 (山梨県 南部町国民健康保険診療所 所長)

「みんなで健康づくりの町ー郡上市和良町ーより」

廣瀬 英生氏 (岐阜県 県北西部地域医療センター国保和良診療所 所長)

第2部 記念講演

◆養父市健康長寿大作戦の成功を目指して



『名医とつながる!たけしの家庭の医学』にも出演!

新開 省二氏

(東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 医学博士)

栄養・体力・社会参加がフレイル予防のポイント。
フレイル予防の効果的な取組による健康長寿の秘訣を伝授。

主催 養父市

後援

日本医師会、全国国民健康保険診療施設協議会、全国自治体病院協議会、関西健康・医療創生会議、
認定NPO法人日本ホルモンステーション、兵庫県医師会、兵庫県市町診療施設運営対策協議会、兵庫県、
養父市医師会、公立八鹿病院